

戦交遊録⑨

「声なき声の会」6・15の集まり —小林トミさんや高畠通敏さんと それに続く人々—

吉川 勇一

1960年6月15日といえば、60年安保闘争の中で、東大の学生だった樺美智子さんが殺された日であることはご承知でしょう。また、この運動の中で、日本の運動の中で初めてと言える市民運動、「声なき声の会」が発足したこともご存じでしょう。

この会は、毎年、6月15日に集まり、その後それぞれ花束を持って樺さんが亡くなられた場所に近い国会南通用門前に移動して献花をし、樺さんのことを思い、安保への反対の意志を再確認してきました。これが毎年、今もなお続いていることは知られているでしょうか。今年も20数人の方が国会前にも集まりました。

由でこの3年ほどは参加できなくなっていますが、それ以外の人びとが毎年20数人から40数人来られ、遠くは北海道や九州から来られる方、一昨年は、日本の60年安保闘争に関心があったと、韓国からこられた方さえありました。(左上写真)

今年の会では、故高畠通敏さんが残された1960年の写真や切り抜きファイルなどが展示されました。資料の中には、当時の多数のチラシの現物があつたほか、ファイルには声なき声の会の行動をはじめその後のベ平連の行動なども毎回のようによくの写真に撮り続けた故成谷茂さんのすぐれた写真も多数、貼られていました。1960年6月15日と記入された写真もあり、とても貴重な写真集だと思えました。

都から出席されていました。本多さんは残念ながら2年前に亡くなられ、鶴見さんも健康上の理

えごく少ない人数になったとしても、最低限南通用門に集まって樺美智子さんへの献花を続けたいという意見でしたし、今年初めて参加するのだという人も2人いたのです。また、豊島勤労福祉会館の会場とりの手続きは簡単ではないのですが、それも立川の細田伸尚さんが引き受けてくださるといふことで、来年からもしばらく「6・15行動」は続けられることに決まりました。これまでの柳下事務局長さん、お疲れさまで、ありがとうございます。来年も6・15には、小林さんたちの思いを受け継ぐ人びとにより、集まりがあるでしょう。みなさんよろしく。

ところで珍しい写真2枚もご紹介しておきましょう。一つは、1960年6月の高畠通敏さん兄弟姉妹さんらの写真(左上)、そして、1967年10月8日の小林トミさんと私の写真(左下)です。後者は、名古屋ベ平連の発足の集会に参加した時でした。

(よしかわ・ゆういち/本会共同代表)

「声なき声の会」の事務局長だった小林トミさんや高畠通敏さんが生きていられたとき

は、小林さんらは必ず参加されていましたし、90歳をこえていた本多立太郎さんは和歌山から、鶴見俊輔さんも京

国会南通用門前での献花

都から出席されていました。本多さんは残念ながら2年前に亡くなられ、鶴見さんも健康上の理

しかし、小林さん亡きあと、事務局を担ってこられた横浜の柳下弘壽さんが、健康上の理由で、毎年6・15の会場を準備することができなくなりそうで、来年以後続けるかどうか、という問題が提起されました。でも、全員が、たと

前列左から3人目が通敏さん(堀孝彦さん提供)

